

2026 年 4 月 21 日作成 Ver.1.0

《情報公開文書》

脊髄小脳変性症に伴う角膜内皮障害症例の検討

研究の概要

【背景】

脊髄小脳変性症は神経変性疾患であり、近年、角膜内皮細胞密度の低下を伴うことが報告されています。しかし、その発症機序や進行様式、臨床経過については十分に明らかになっていません。特に白内障手術後や水疱性角膜症として発見される症例もあり、他疾患との鑑別や適切な診療方針の確立が課題となっています。

【目的】

脊髄小脳変性症に伴う角膜内皮障害の臨床的特徴を明らかにすることが、この研究の目的です。具体的には、診療録に基づき角膜内皮細胞密度の推移、視力、既往歴、手術歴、合併症の有無などを後ろ向きに検討し、本疾患における角膜内皮障害の実態を把握します。また、一部の手術施行例については術後経過もあわせて評価し、今後の診療に役立つ基礎的知見を得ることを目的としています。

【意義】

本研究により、脊髄小脳変性症に伴う角膜内皮障害の実態と臨床的特徴を明らかにすることで、早期診断および適切な治療介入につながる知見が得られることが期待されます。

【方法】

脊髄小脳変性症に伴う角膜内皮障害患者において、症状、所見、検査結果、治療、経過などについて電子カルテを用いて後ろ向きに調査します。

対象となる患者さん

長崎大学病院眼科において、2010 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までに脊髄小脳変性症に伴う角膜内皮障害と診断された患者さん

研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

- ・患者背景：性別、年齢、症状、現病歴、既往歴、家族歴
- ・所見：視力、眼圧、眼科所見、角膜内皮細胞密度、脊髄小脳変性の状態
- ・経過：症状の経過、術眼、術式、再発、追加手術、合併症の有無

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

情報の利用開始予定日	
本研究は 2026 年 7 月 17 日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。	
あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ研究対象から除外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。 ご連絡のタイミングによっては対象対象から除外できない場合もあります。 あらかじめご了承ください。	
研究実施期間	
研究機関長の許可日～2028 年 12 月 31 日	
研究実施体制	
研究責任者	所属：長崎大学大学院医歯薬総合研究科 眼科・視覚科学分野 氏名：上松 聖典 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095（819）7345
情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長
問い合わせ先	
【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】 長崎大学大学院医歯薬総合研究科 眼科・視覚科学分 上松 聖典 〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号 電話：095（819）7345 FAX 095（819）7347	
【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200 受付時間 : 月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）	